

男女共同参画ってなあに？



Part 9



男女共同参画社会とは、

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことをいいます。

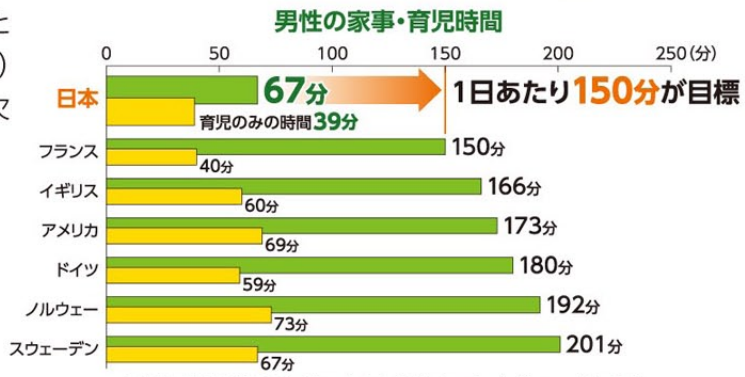
男性の育児参加について考えましょう

日本では、働く意欲はあっても、出産を機に離職する女性が多い傾向にあります。もし、希望するすべての女性が職場などで活躍し続けることができるのであれば、昨今、社会で問題とされている労働力不足を補うことにとどまらず、これまでの男性中心の組織に新たな視点が生まれ、組織の多様性につながります。女性が活躍できる社会の実現は、様々な良い効果を社会に生み出します。



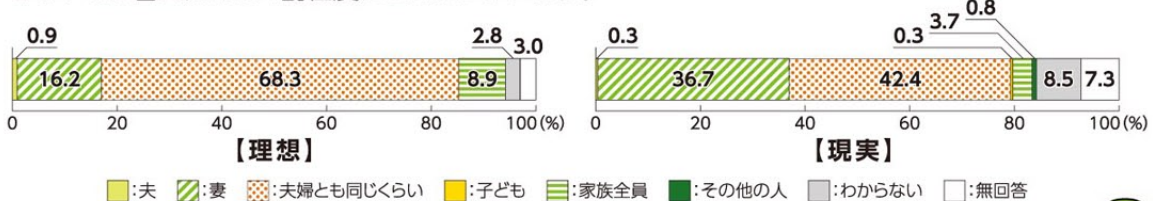
♣️ 男性の家事・育児時間ってどのくらい？ ♣️

女性が出産後も働き続けようとするとき、男性(夫・パートナー)の家事・育児への参加が不可欠ですが、実際はどうでしょうか？



上のグラフは6歳未満の子どもを持つ夫婦における1日当たりの男性の家事・育児時間の国際比較ですが、これによると日本の男性は、他の国々と比べて低い水準にとどまっています。

平成28年に姫路市が実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」によると、男性では、夫婦が同じぐらいに育児・しつけを分担することが理想であると7割近くが答えていますが、実際に分担できていると答えたのは4割程度にとどまっています。

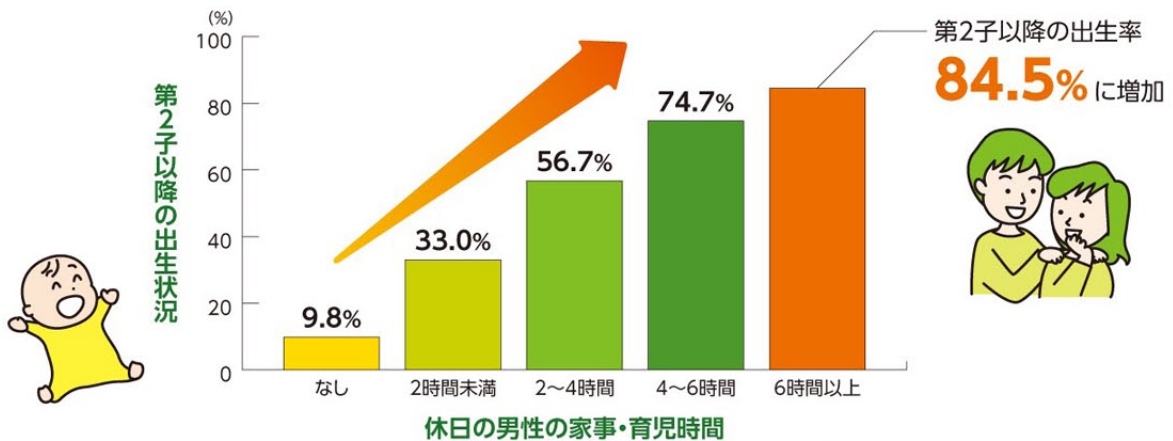


この調査結果から、多くの男性が、育児・しつけに参加したいと考えていても現実にはなかなか参加することができないという状況が見て取れます。



♻️ 男性の育児参加が出生率アップの鍵に!?

厚生労働省の調査によると、子どもがいる夫婦における男性の休日の家事・育児時間が増えると第2子以降の出生率が大幅に増加するという結果が出ています。



※内閣府男女共同参画局「男性の家事・育児参画コンセプトポスター」より転載

このように、男性が積極的に家事・育児に参加できる社会の実現は、現在の日本社会が抱える労働力不足や少子高齢化といった問題を解決する可能性を持っているとも言えます。

とは言いつつ、男性が家事・育児、とりわけ育児に参加したいと思っても、何をどうすればいいのかわからないという人が多いのではないのでしょうか。

そこで、この度、男性向けの育児啓発冊子として『パパの教科書』を作成しましたので、ぜひ参考にしてください。



“あいめっせ”でお待ちしています。どなたでも、ぜひお越しください。

“あいめっせ”は
姫路城の南、
イーグレひめじの
3階です。

男女共同参画について、よく分からない、また疑問に思った方は、“あいめっせ”と一緒に学んでみませんか。“あいめっせ”では、男女共同参画社会について学ぶための講座を開催したり、男女共同参画についての図書の貸し出しもしています。

“あいめっせ”から
最初の一步を♪



発行/姫路市男女共同参画推進課 発行日/平成29年(2017年)3月

姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”

〒670-0012 姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階

TEL(079)287-0803 / FAX(079)287-0805

ホームページ 男女共同参画推進課 <http://www.city.himeji.lg.jp/s30/2870803.html>

あいめっせ <http://www.city.himeji.lg.jp/i-messae/>

